

勤務時間外の対応について

- 地震の場合、震度5強以上で災害対策本部を自動設置とする。
- 本校の動員区分について

A号動員：校長、教頭、事務長、事務係長、学部主事、学年主任、各分掌部長（全職員の約1/5）	
B号動員：A号動員に加え、学級担任、（全職員の約1/3）	47%
C号動員：全員（産休・育休・休職者及び非常勤講師等は除く）	23%

《 参集した職員により役割分担を行い行動開始 》

[A号動員の場合]（震度5強）

- 教職員の安否確認（教職員からの連絡を待つ）
- 児童等及び家族の安否確認（避難所開設準備と同時進行になる可能性有り）
 - 学部主事と学年主任が担当する（学級担任から児童の安否確認は学年主任から学部主事に連絡）
 - 緊急連絡網及び携帯メールを活用した連絡システムを使って職員に児童等の安否確認を指示する。
 - メールを受けた教職員はまずは自身の状況をメールで報告し、のちに児童等の安否確認に取りかかる
 - 児童等の安否確認結果について学校に報告する。
- 地震規模、余震情報、二次災害等の情報収集
 - 管理職が担当する
- 学校の被害状況の把握、危険箇所の立入禁止措置
 - 事務係長と各分掌長が担当する
- 教育委員会に被害状況を報告
 - 管理職が担当する

[B号動員の場合]（震度6弱）

- 教職員の安否確認（教職員からの連絡を待つ）
- 児童等及び家族の安否確認
 - 学部主事と学年主任が担当する（学級担任から児童の安否確認は学年主任から学部主事に連絡）
 - 緊急連絡網及び携帯メールを活用した連絡システムを使って職員に児童等の安否確認を指示する
 - メールを受けた教職員はまずは自身の状況をメールで報告し、のちに児童等の安否確認に取りかかる（災害伝言ダイヤルの活用）
 - 児童等の安否確認結果について学校に報告する
- 地震規模、余震情報、二次災害等の情報収集
 - 管理職が担当する
- 学校の被害状況の把握、危険箇所の立入禁止措置
 - 事務係長、A号動員に加え、B号動員が担当する
 - 教職員のチーフは生徒指導部長が担当する
 - 事務部のチーフは事務係長が担当する
- 県教育委員会に被害状況を報告
 - 管理職が担当する

[C号動員の場合] (震度6強)

- 児童等及び家族の安否確認
 - ・クラス担任が担当する
 - ・緊急連絡網及び携帯メールを活用した連絡システムを使って児童生徒の安否確認を行う
 - ・児童生徒の安否確認結果については、学部主事に報告
- 教職員の安否確認
 - ・学部主事が担当する
 - ・緊急連絡網及び携帯メールを活用した連絡システムを使って職員の安否確認を行う
 - ・メール等の連絡を受けた教職員は自身の状況、参集可能かどうかなどの報告を行う
- 地震規模、余震情報、二次災害等の情報収集
 - ・管理職が担当する
- 学校の被害状況の把握、危険箇所の立入禁止措置
 - ・事務係長、A号、B号動員(学部主事・担任を除く)に加え、C号動員が担当する
 - ・教職員のチーフは生徒指導部長が担当する
 - ・事務部のチーフは事務係長が担当する
- 県教育委員会に被害状況を報告
 - ・管理職が担当する